にっぽんごのほんね下

KN
N
2

国立国語研究所
121270
図書館

にっぽんごの

日本語教育
53. 8. 4
センター

ほん

二ねん下

013
H45
(USA)

東京都千代田区霞が関3-2-2
文化庁文化部国語課

もくじ

みち　1

ひろい　みち　せまい　みち……4

はとの　みち……6

あかい　とり　ことり……10

よみます

らくだの　みみ……14

なきごえ　あそび……18

はるが　きた

○はるが　きた……24

えはがき……26

4 はなします

いいすたあの　やすみ……32

もりの　こやぎ……36

5 れい

れいの　ひ……40

れいと　いるか……42

6 したきりすずめ

したきりすずめ……48

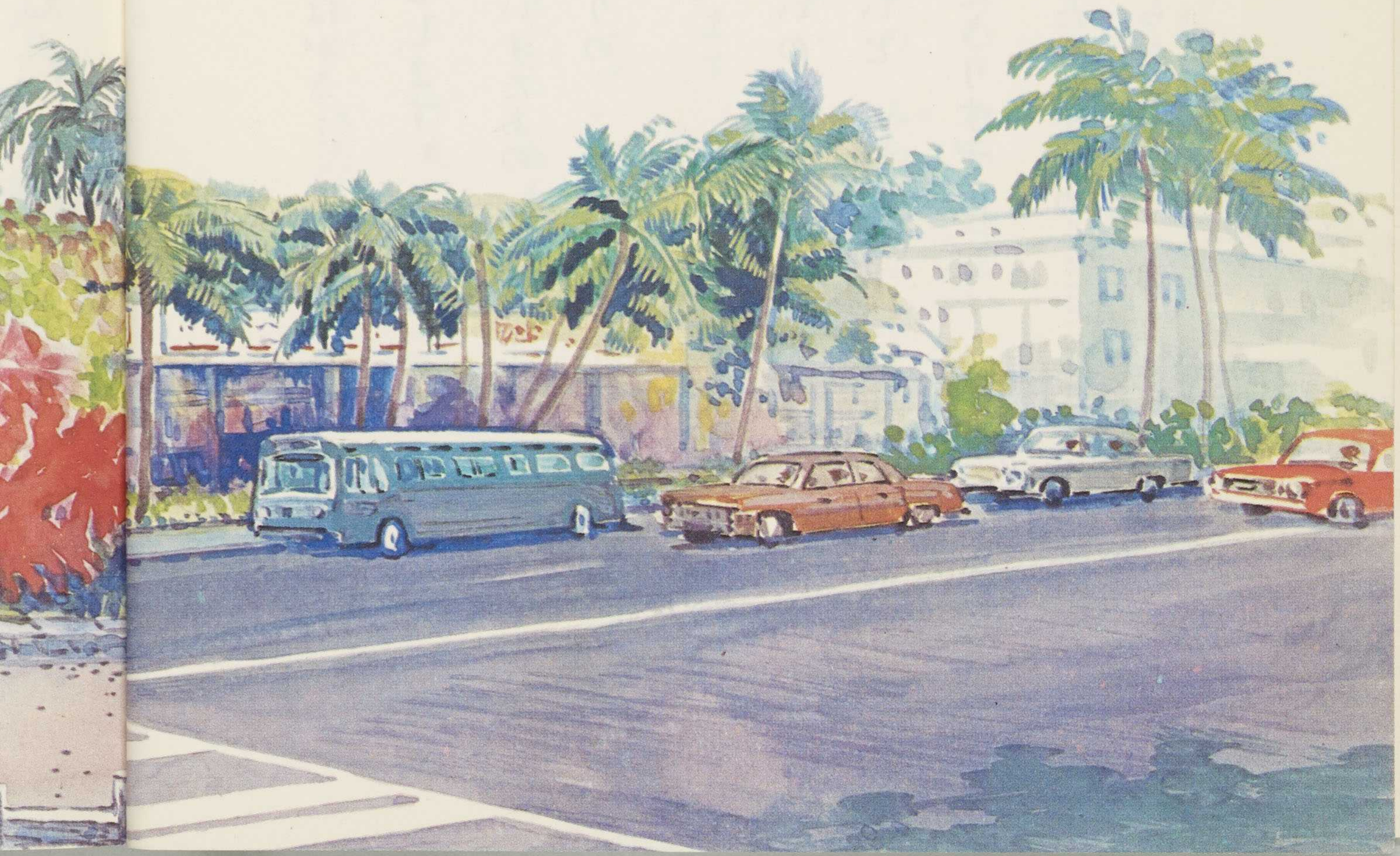
ひらがな……56

1 みち

ひろい　みち
せまい　みち

ひろい　みちです。
じどうしゃが、
はしって　います。
ばすも、はしって　います。
みせが、ならんで　います。

せまい　みちです。



せまい　みちです。
こどもが、あそんで　います。
いぬも、いっしょに
あそんで　います。
はなが、さいて　います。

はとの　みち

おばあさんの　うちへ　いきました。

おばあさんの　うちは、

やまの　ほうに　あります。

おかあさんが、

じどうしゃを　うんてんして　いきました。

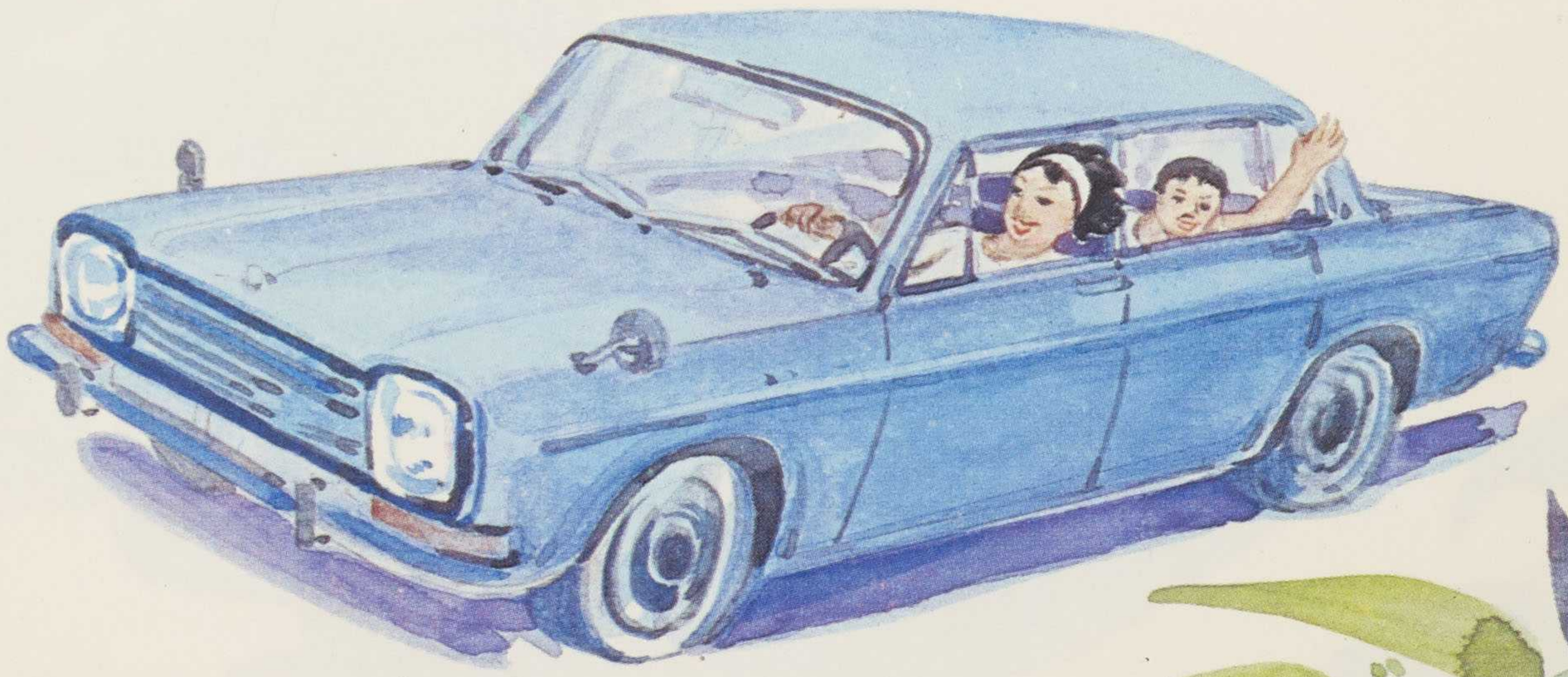
しずかな　みちを　とおりました。

りょうがわに、おおきな　きが、

しずかな　みちを　とおりました。

りょうがわに、おおきな　きが、
ならんで　いました。
きの　えだに、はとが、
たくさん　いました。

はとは、
みちにも　いました。
みちの　まんなかで、
なにか　たべて　いました。



なにか　たべて　いました。

おかあさんは、
じどうしゃを　とめました。
そして、
けいてきを　ならしました。
おおきな　こえで、
「はとさん、あぶないですよ。」
と　いいました。

あかい　とり　ことり

あかい
とり、ことり。

なぜ、なぜ、あかい。

あかい
みを　たべた。

JASRAC

作詞　北原白秋
作曲　成田為三

しろい
とり、ことり。
なぜ、なぜ、しろい。
しろい
みを　たべた。

© Hakushu Kitahara
and Tamezo Narita

まとめ

ひろい　みち　↕　せまい

みちの　りょうがわ

みちの　まんなか

ならんで　います（みせが）

でて　います（つきが）

さいて　います（はなが）

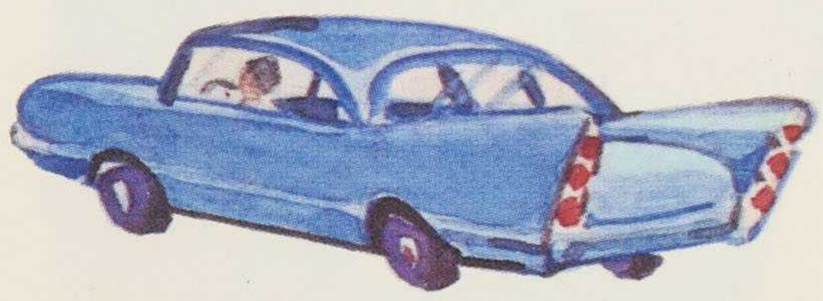
あいて　います（まどが）

みち

（おかあさんが）
じどうしゃを　うんてんして
いきました。
きました。

（さるは）
うちへ　にげて
いきました。
きました。

（かぜが）
くさの　うえを　ふいて
いきました。
きました。



2 よみます

らくだの　みみ

むかし　むかし、
らくだには、おおきい
みみが　ありました。
あるとき、らくだは　かんがえました。
「うしには、おおきい　つのが　あります。
ぞうには、おおきい　きばが　あります。
わたしには、なにも　ありません。」

らくだは、かみさまに
たのみました。
「どうぞ、わたしにも、
つのを　つけて　ください。」
かみさまは、らくだに
おおきい　つのを　つけました。
らくだは、たいへん　よろこびました。
みんなに　つのを　みせました。

らくだは、にんげんにも
その　つのを　みせました。
にんげんは　いいました。
「おや、おや、らくだに
つのが　ありません。
へんな　らくだですね。」
にんげんは、らくだの
つのを　きりました。

そのとき、らくだの
みみも、いっしょに
きりました。

それから、らくだの
みみは、ちいさく
なりました。

なきごえ　あそび

なつお「なきごえ　あそびをしましょう。」

みのる「どう　するのですか。」

なつお「わたしが、どうぶつの　なまえを　いいます。あなたは、その　どうぶつの　なきごえを　いって　ください。」

みのる「はい。わかりました。」

なつお「さあ、はじめましょう。

はじめは いぬ。」

みのる「わん、わん。」

なつお「うし。」

みのる「うしは、もう、もう。」

なつお「つぎは うま。」

みのる「ひん、ひひん。」

みのる「こんどは、わたしが、どうぶつの なまえを いいますよ。ねこ。」

なつお「にゃお、にゃお。」

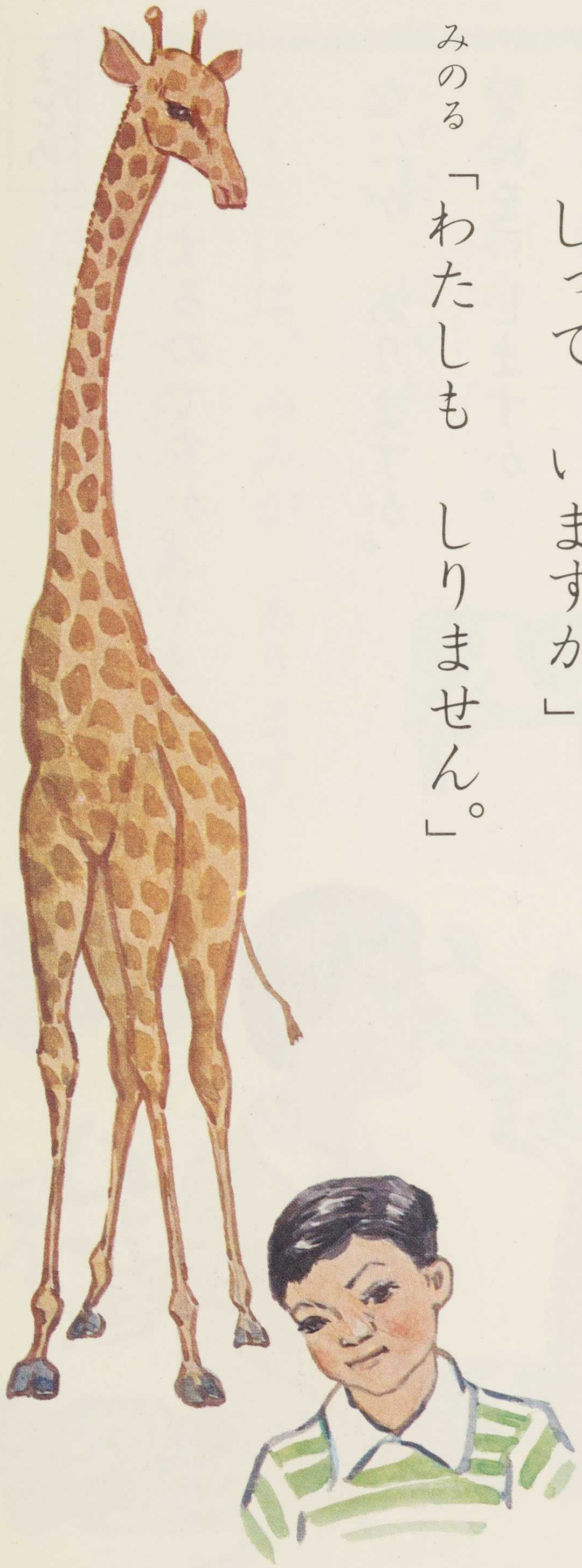
みのる「かわいい ねこですね。つぎは さる。」

なつお「きゃっ、きゃっ、きゃきゃっ。」

みのる「こんどは　きりん。」

なつお「さあ、しりません。
あなたは、きりんの　なきごえを
しって　いますか。」

みのる「わたしも　しりません。」



まとめ

どうするのですか。

なにがありますか。

なにをしますか。

なにかたべますか。

なにもありません。

なんの　なきごえですか。

ひひん　ひひん

きゃっ　きゃっ

もう　もう

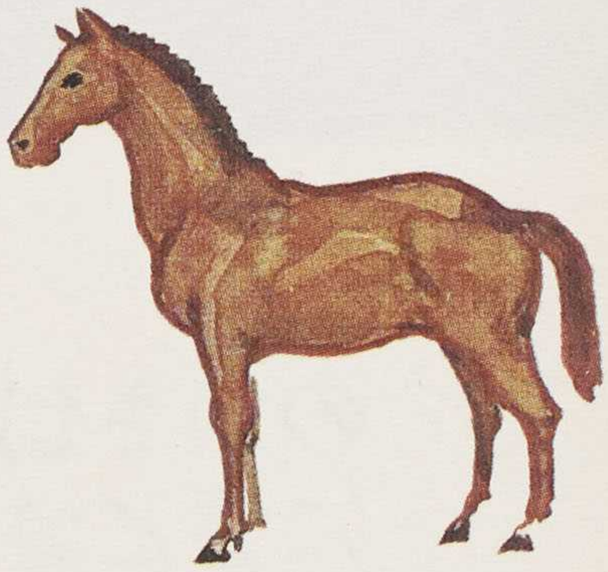
わん　わん

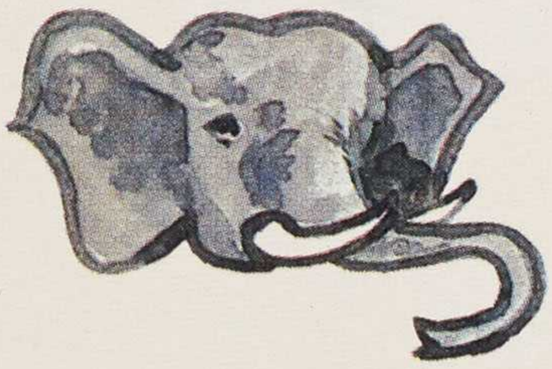
にゃお　にゃお

らくだには、みみが　あります。

うしには、つのが　あります。

ぞうは、きばが　あります。





3

はるが　きた
はるが　きた。
はるが　きた。
どこに　きた。
やまに　きた。
さとに　きた。
のにも　きた。

はなが　さく。
はなが　さく。
どこに　さく。

やまに　さく。
さとに　さく。
のにも　さく。

（文部省唱歌）

えはがき

えはがきが　きました。
とうきょうの　おばさんから　きました。
さくらの　はなの　えはがきです。
わたしは　えはがきを　よみました。

はるこさん、みのるさん。
おげんきですか。
いま、にっぽんは　はるです。
さくらの　はなが、
　　さいています。
みんな、さくらの　はなを
　　みに　いきます。
おとうさんと　おかあさんに
よろしく。
　　さようなら。

わたしは、おばさんに
へんじを かきました。
はわいの うみの
えはがきに かきました。

P-104
RIDING THE SURF — A SPORT OF KINGS
The wind and waves are just right to make surfing a favorite sport at Waikiki.
Photography by Camera Hawaii

おばさん, えはがきを
ありがとう ございました。
にっぽんの さくらは
きれいですね。
わたしは にっぽんへ
いきたいです。
そして, さくらの はなを
みたいです。
では, おげんきで。
さようなら。

PONO-CRAFT by WW Distributors, Ltd., Honolulu-Hawaii

PLACE
STAMP
HERE

Post Card
Mrs. Masako Yamada
1-10 1 Chome
Nishikanda
Chiyoda-ku Tokyo
Japan

49802-B

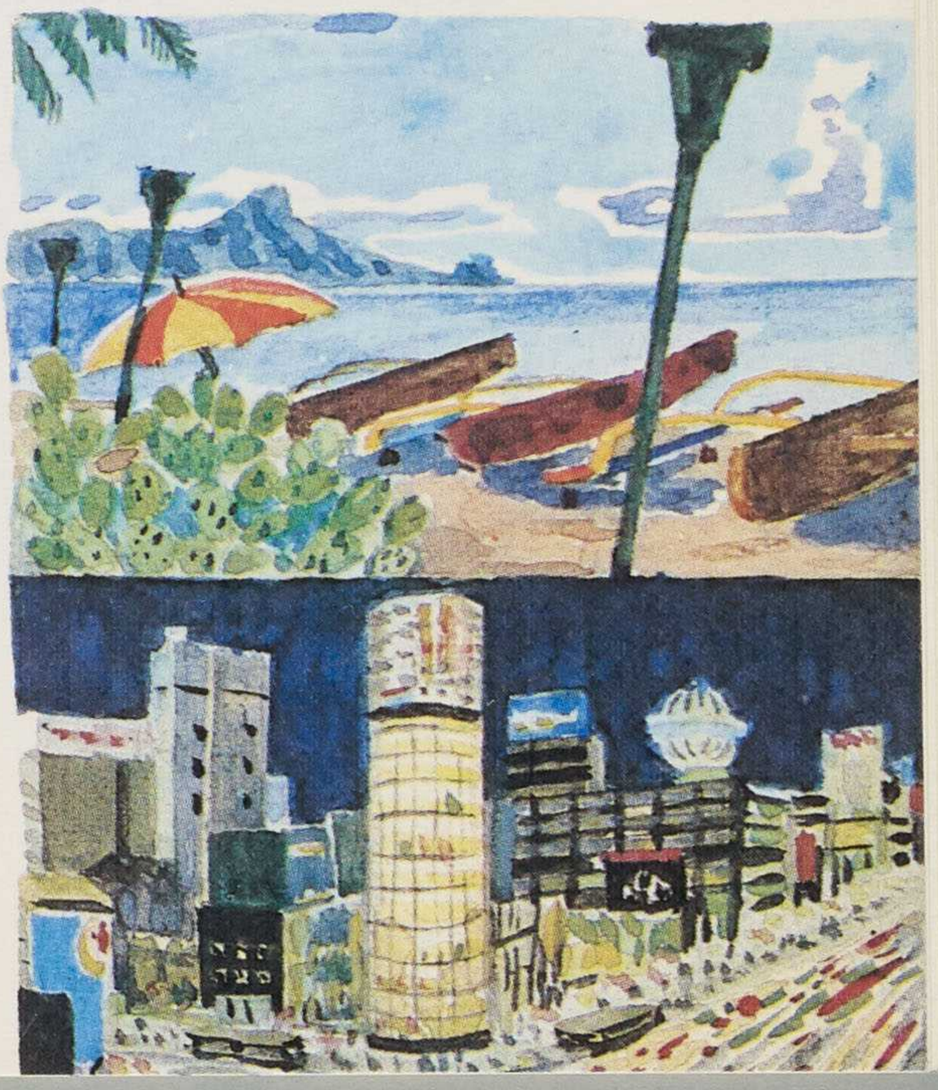
dp DEXTER PRESS, INC
WEST NYACK, NEW YORK

おばさん、えはがきを
ありがとうございました。
にっぽんの　さくらは
きれいですね。
わたしは　にっぽんへ
いきたいです。そして、
さくらの　はなを　みたい
です。
では、おげんきで。
さようなら。

まとめ

いま、にっぽんは　はるです。
いま、はわいは　なつです。
いま、とうきょうは　よるです。

にっぽんへ　いきます。　→いきたいです。
さくらを　みます。　→みたいです。
にっぽんごを　はなします。→はなしたいです。
ごちそうを　たべます。　→たべたいです。
うたを　ききます。　→ききたいです。



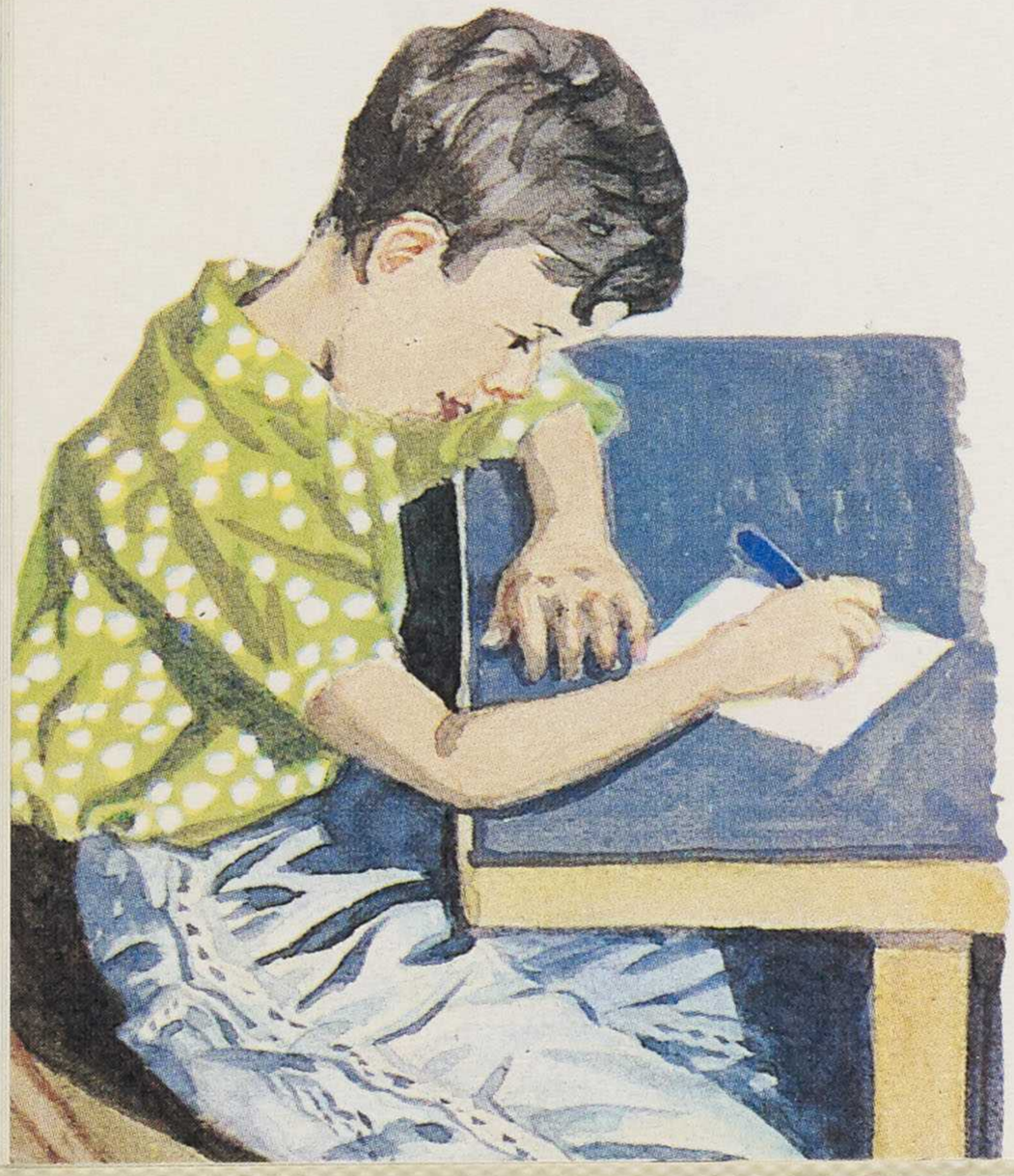
○てがみの　ことば

みなさん　おげんきですか。

おてがみ　ありがとうございました。

みなさんに　よろしく。

では、おげんきで。



4 はなします

いいすたあの　やすみ

せんせいが　いいました。

「いいすたあの　やすみに、なにを　しましたか。はなして　ください。」

なつおさんが　はなしました。
「にっぽんから　おじさんが
きました。
わたしは、おとうさんと
ひこうじょうに
むかえに　いきました。

いさむさんが　はなしました。
「おじさんの　うちへ、
あそびに　いきました。
おじさんの　うちには、
ぱいなっぷるの　はたけが
ありません。
ぱいなっぷるを　たくさん
たべました。」

はるこさんも　はなしました。

「ねこの　あかちゃんが、
うまれました。
さんびき　うまれました。
わたしは、ねこの
おかあさんに、いいすたあの
たまごを　やりました。」

もりの　こやぎ

JASRAC

作詞　藤森秀夫
作曲　本居長世

めえ、めえ。
もりの　こやぎ。
もりの　こやぎ。
こやぎ　はしれば、
こいしに　あたる。

あたりゃ、
あんよが、
ああ　いたい。
そこで、
こやぎは、
めええと　なく。

©Hideo Fujimori
and Nagayo Motoori

まとめ

○なにを　しますか。

ひこうじょうで
こうえんで
がっこうで
すいぞくかんで
まあけっとで

むかえに　いきました。
あそびに　いきました。
みに　いきました。

ねこに　いいすたあの　たまごを　やりました。
いぬに　とりに　やりました。
さかなに　□□□を　やりました。

5 れい

れいの ひ

きょうは、「れいの ひ」です。
みんなが、れいを かけます。

わたしは、がっこうへ
れいを かけて いきました。
あかい はなの れいです。

はなこさんは、ももいろの
れいを　かけて　きました。
いさむさんと　いちろうさんは、
しろい　れいを
かけて　きました。
せんせいは、きいろい　れいを
かけて　いました。
みんな　たいへん　きれいでした。

れいと いるか

きせんが、うみを はしって
いました。
その きせんから、れいが、
ひとつ うみに おちました。
あたらしい きれいな れいです。

「おや、これは　なんでしょう。
ごちそうでしょうか。」
いるかが、れいを
つつきました。
れいは、いるかの
あたまに　すっぽり
はまりました。

いるかは　こまりました。

けれども、ほかの

さかなは　ほめました。

「いるかさん、りっぱですね。

おおさまの　ようです。」

いるかは　よろこびました。

そして、　げんきよく

およいで　いきました。

まとめ

○みんなのれいは、どんな いろですか。

わたし

はなこさん

いさむさん

せんせい

ひとつ おちました。

ふたつ たべました。

みっつ つくりました。

いるかは、おおさまの　ようです。

ひこうきは、

□□□

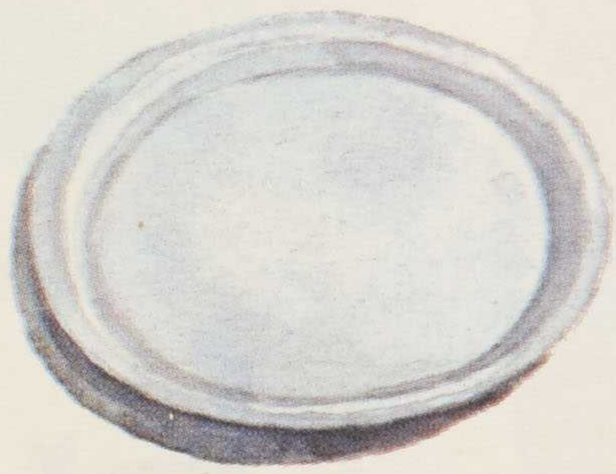
にじは、

つきは、

の　ようです。

げんきよく　〈　およぎます。
　　あそびます。

なかよく　〈　あそびます。
　　およぎます。



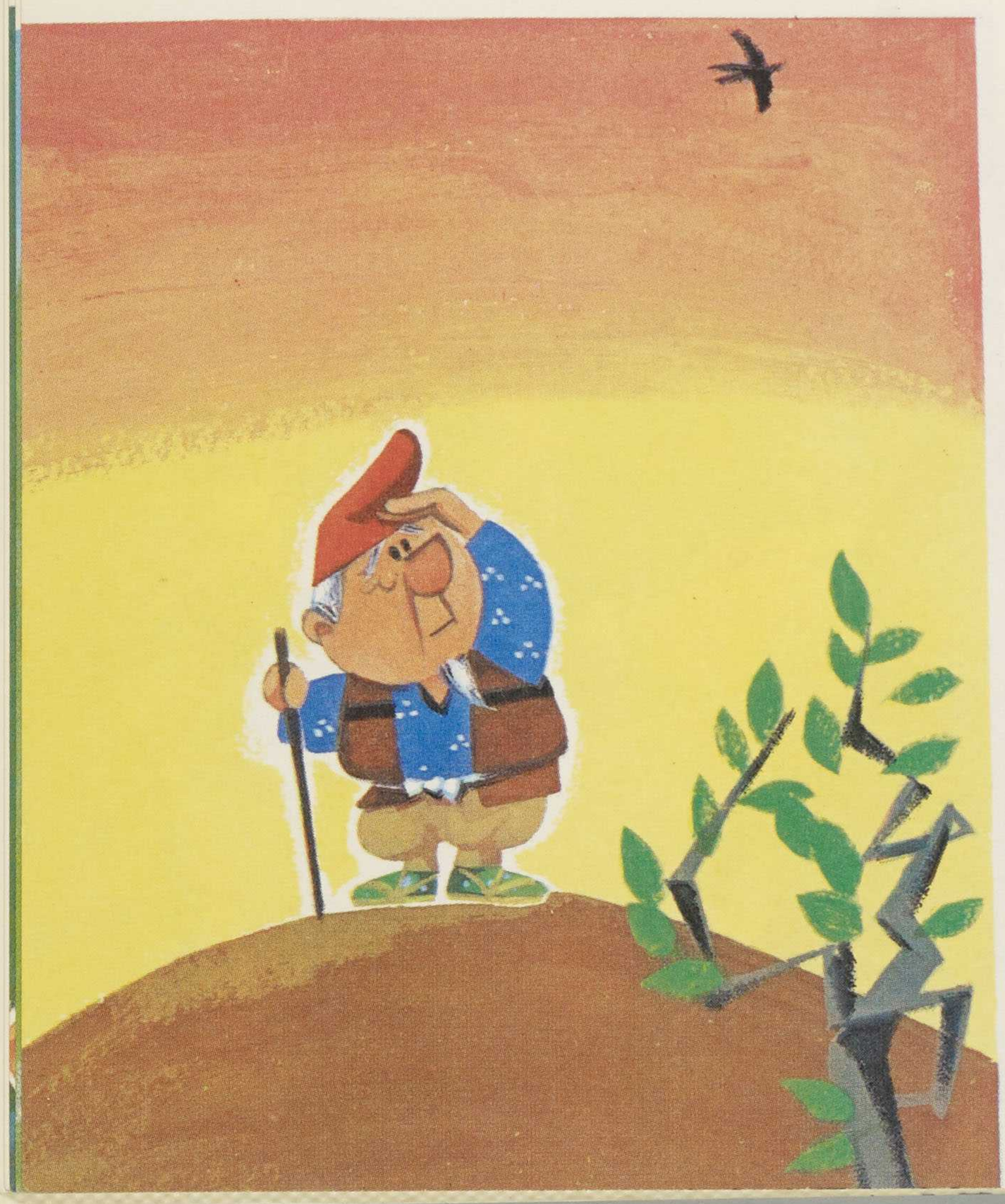
6 したきりすずめ

おじいさんの　うちに
すずめが　きました。
おじいさんは、すずめに
えさを　やりました。

あるひ、すずめは、
おばあさんの　のりを
たべました。

おばあさんは　おこりました。
すずめの　したを　きりました。
すずめは、にげて　いきました。

おじいさんは、
すずめを　さがしに　いきました。
「すずめ、すずめ、
おやどは　どこだ。」



すずめの　うちは、
たけやぶの　なかに　ありました。
すずめは　げんきでした。

すずめは、おじいさんに
たくさん　ごちそうを　しました。
おどりも　みせました。

すずめは、おおきい　つづらと
ちいさい　つづらを　もって
きました。
「おじいさん、どっちが
いいですか。」
と　ききました。

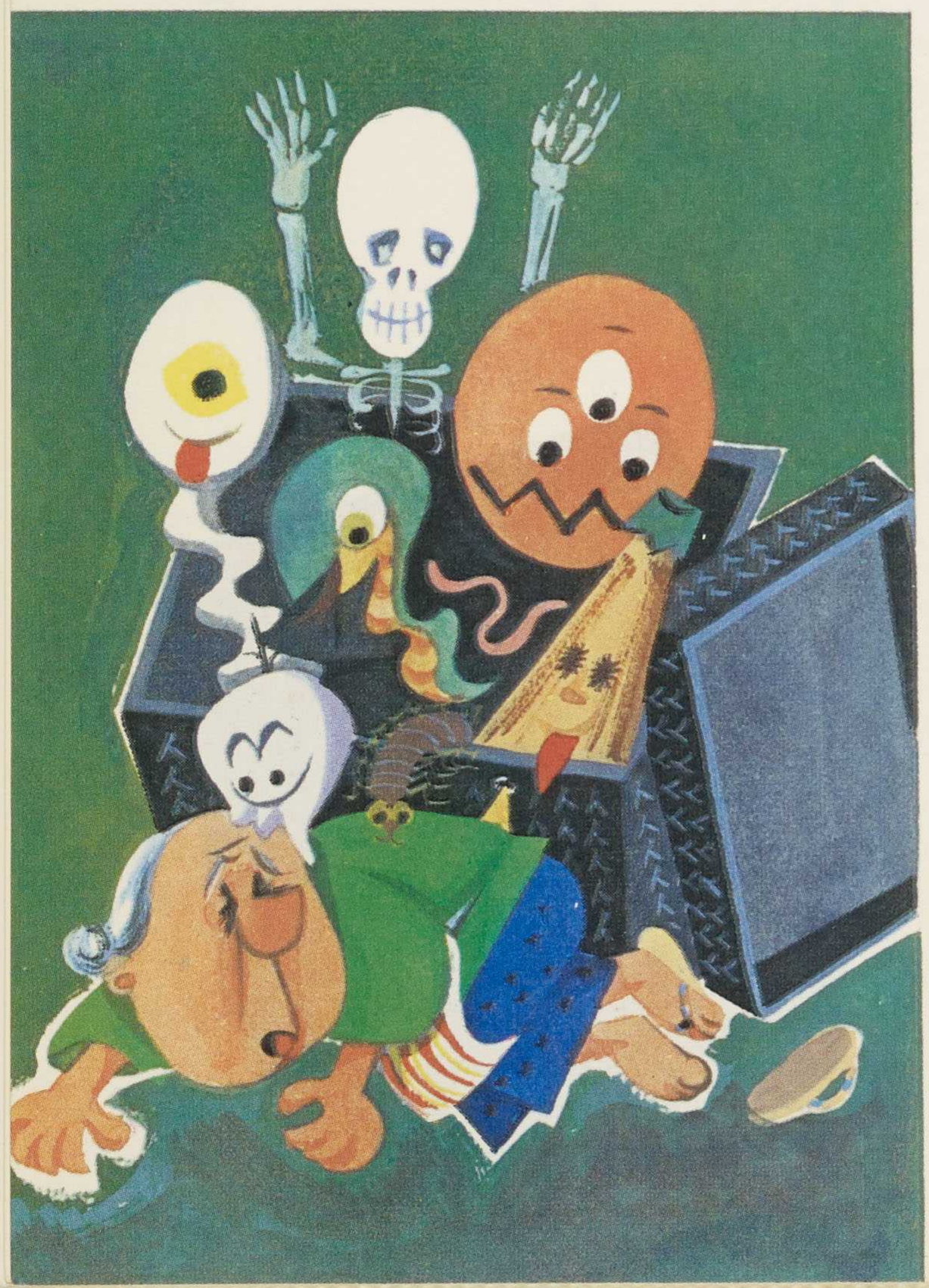
「ちいさい　ほうが　いいです。」
おじいさんは、ちいさい　かるい
つづらを　もらいました。

おじいさんは、うちへ
かえりました。
うちで　つづらを　あけました。
なかには　たからものが、
たくさん　ありました。

おばあさんも、
つづらを　もらいに　いきました。
おばあさんは、おもい　おおきな
つづらを　もらいました。

おばあさんは　かんがえました。
「おもい　つづらです。
たからものが、たくさん
はいっています。」

とちゅうで　おばあさんは、
つづらを　あけました。
こわい　ばけものが、
でて　きました。

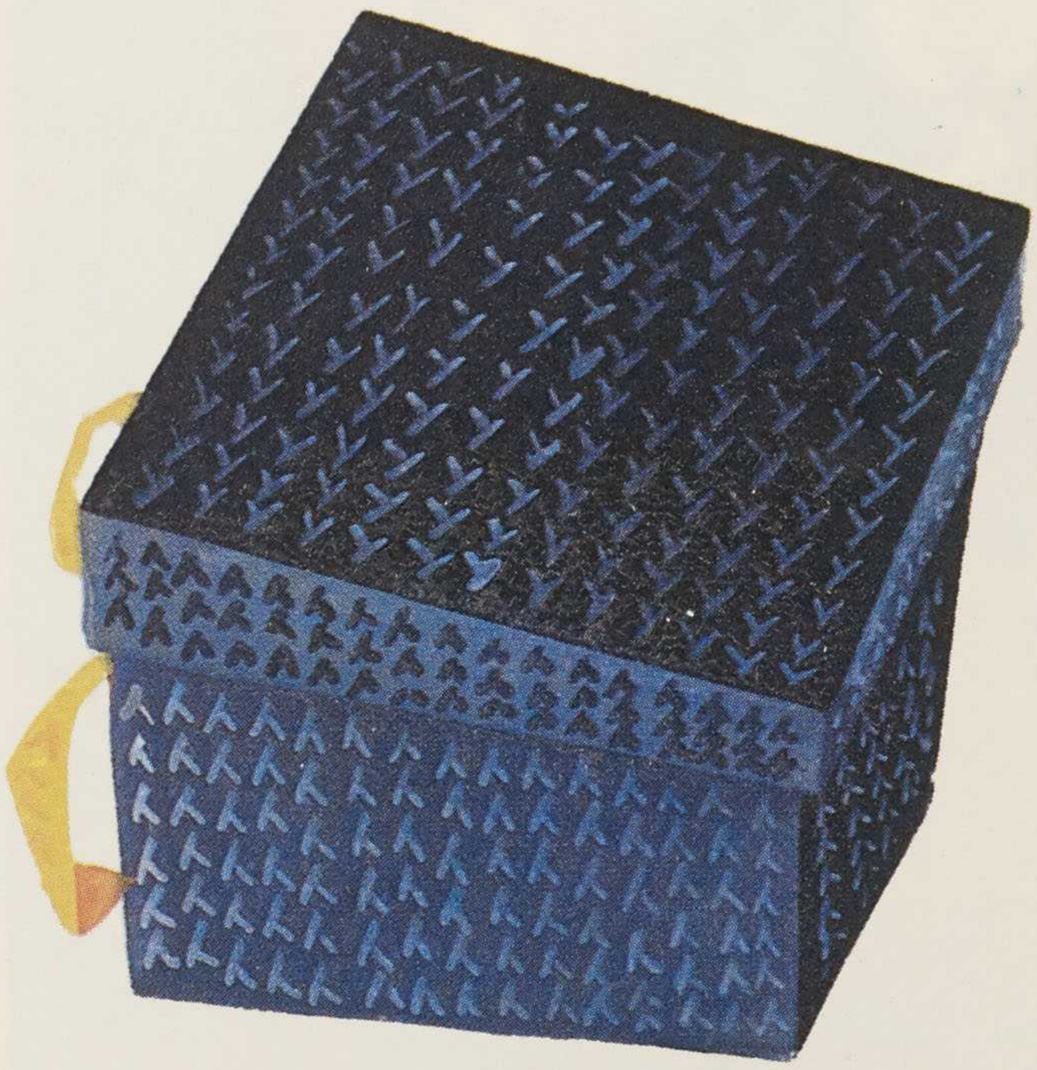


まとめ

どっちが　いいですか。

ちいさい
おおきい　ほうが　いいです。

おもい
かるい　ほうが　いいです。



すずめは　おどりを　みせました。
おじいさんは　おどりを　みました。
うみが　みえました。
おもい　おおきな　つづら
かるい　ちいさな　つづら
あたらしい　きれいな　れい
ひろい　□　みち
りっぱな　がっこう

ひらがな

あ・	か・	さ・	た・	な・	は・	ま・	や・	ら・	
い・	き・	し・	ち・	に・	ひ・	み・		り・	
う・	く・	す・	つ・	ぬ・	ふ・	む・	ゆ・	る・	
え・	け・	せ・	て・	ね・	へ・	め・		れ・	
お・	こ・	そ・	と・	の・	ほ・	も・	よ・	ろ・	

きゃ・	しゃ・	ちゃ・	にゃ・	ひゃ	みゃ	りゃ・
きゅ・	しゅ・	ちゅ・	にゅ・	ひゅ	みゅ	りゅ
きょ・	しょ・	ちょ・	にょ	ひょ	みょ	りょ・

わ・　ん・　が・　ざ・　だ・　ば・　ぱ・

を・　げ・　ぎ・　ぐ・　ぜ・　じ・　で・　ぢ・　べ・　び・　ぺ・　ぴ・

ご・　ぞ・　ど・　ぼ・　ぽ・

ぎゃ　じゃ　ぢゃ　びゃ　ぴゃ

ぎゅ・　じゅ・　ぢゅ　びゅ　ぴゅ

ぎょ・　じょ・　ぢょ　びょ　ぴょ

121270

東京都千代田区霞が関3-2-2
文化庁文化部国語課

にっぽんごの　ほん　二ねん下

一九六八年一月五日　印刷
一九六八年一月十五日　発行

東京外国語大学教授
責任編集　釘　本　久　春

製　作　日本出版貿易株式会社
東京都千代田区神田猿楽町一の三

印　刷　凸版印刷株式会社
東京都台東区台東一の五

表紙
挿絵　山田貞実・田中春弥・中村千尋

発　行　ハワイ教育会
ハワイ州ホノルル市
HAWAII KYOIKU KAI
1714 Pali Highway
Honolulu, Hawaii 96813

（社団法人日本音楽著作権協会四二一一〇二号承認済）

PRINTED IN JAPAN

国立国語研究所
9000028770

東京都千代田区 [illegible] 2-2
文化財[illegible]課

H45
77
2